

## 令和4年度第8回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和4年11月25日（金） 午後6時15分から午後7時30分まで  
会 場 中伊豆支所2階 教育委員会室  
出席者 西尾真澄委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員  
梅原賢治教育長  
委員及び傍聴人以外の出席者  
教育委員会教育部  
部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、  
社会教育課長 永沼健一、学校教育課主幹 鈴森正敏、  
学校教育課主査 駒坂たえ子

欠席者 佐藤雅彦委員

### 1 開 会 （梅原教育長）

### 2 前回会議録の承認

教育委員確認の後、承認された。

### 3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

#### (1) 前回教育委員会以降の主な行事等

- 11月4日 伊豆市校長会
- 5日 伊豆市児童生徒作品展
- 6日 伊豆市児童生徒作品展
- 8日 教育長県外視察（滋賀県守山市）
- 9日 教育長県外視察（岐阜県下呂市）、田方一斉授業研
- 11日 天城中学校 指導課訪問、教育長・校長代表者会
- 16日 中伊豆中学校 指導課訪問
- 18日 田方教育長会
- 21日 新中学校開校準備委員会
- 22日 静東教育長会
- 23日 青少年健全育成大会
- 25日 定例教育委員会
- 28日 伊豆市校長会

## (2) 市内小中学校の様子について

### <児童生徒について>

#### 新型コロナウイルス感染症の状況について

- ・11月中旬から徐々に感染者が多くなっているが、大きな感染拡大はみられていない。

#### 生徒指導に関すること

#### 問題行動

- ・最近テレビのニュースや新聞等でいじめや不登校の数値についての報道が出ている。暴力行為が多いということが全国的な傾向であるという記事もあった。新型コロナウイルスの感染防止のため、今までは様々なことが制限され、あまり深く関わらなかった子供同士が最近になって関わるようになったことが要因で様々な問題行動を起こしているのではないかと書いてあったが、実際はどうか分からない。そのような見方もあるということである。
- ・小学校の3年生の児童が登校中のバスの車内で上級生の帽子を取り上げ、校舎内に隠した。翌日、この児童は上級生の児童に謝罪したが、仲よしだから構わないという発言もあった。
- ・中学校で男子生徒が担任の先生に注意され、先生に向かって暴言を吐いた事案があった。
- ・中学校でクラスの様子を撮影し、SNSに上げた事案があった。全校指導を行い、生徒に不要なデータを一斉に削除させた。
- ・生徒がSNSで悩み相談室を開設し、匿名で相談してきた人に会いに行こうとしたことが分かった。悪意のある大人が悩んでいる子に成りすまして連絡を取ってくる可能性もあるので安易に会うのは危険である。

#### 不登校について

- ・児童1名が11月から学習支援教室「いごこち」へ入級した。

#### いじめについて

- ・いじめについては、最近マスコミや議会など様々なところで話題になっている。いじめとして捉える境目をどのように考えるかと聞かれることがあるが、1未満のような些細なものでも学校から報告を上げてもらうようにしており、子どもたちから目を離さないようにしている。

教育委員：SNSで悩み相談室を開設したという報告があったが、これは生徒が開設したのか。

統括監：生徒が開設して、悩みのある子の相談に乗り、何とかしようと思って会いに行こうとしたということである。

教育長：悩んでいる子から連絡がきたということであるが、連絡してきた人が本当に悩んでいる子供なのかどうか分からない。

教育委員：暴れる子が多いという印象である。学校で暴れている子は家ではどのように生活しているのかということが気になる。些細なことで問題行動を起こすのかもしれないが、家族団らんのような環境があれば良いと思う。例えば今日1日の出来事について、家庭の中で少しでも話ができるような雰囲気になれば、また少し違っ

てくるのではないか。しかし、今の時代ではなかなか難しいのかもしれない。

教 育 長：今の時代は親が忙しく、子供と向き合う時間が充分に取れていないのだと思う。家庭では安心して本来の自分が出せるというのが本来の姿であり、学校など他人がいる場面では決まりを守り、問題なく学校生活が送れるということが大事だと思う。

### (3)今後の予定

12月4日 ふれっぷ水泳大会

6日 天城小学校 指導課訪問

21日 定例教育委員会

22日 人事構想面談

23日 市内学校終業式

28日 仕事納め

※12月議会 11/29日～12/20日 一般質問 12/1・2・5

次回教育委員会予定 12月21日 9時30分～

次々回教育委員会予定 1月30日、31日 9時30分または18時15分

## 4 議事

議案第29号 令和4年度準要保護児童生徒の認定について

- ・学校教育課長より、児童扶養手当の受給世帯に該当する別添に記載した4名を新たに準要保護児童生徒として認定することについて説明する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第30号 令和4年伊豆市議会12月定例会に提出する議案について

- ・学校教育課長より、令和4年度一般会計補正予算（第5号補正予算）として、新型コロナウイルス感染症対策で換気をしながらエアコンを使用したことや密を回避する分散授業により複数教室で同時にエアコンを使用したこと等に伴い、最大電力用・電気使用量が増加したことや電気価格の高騰も踏まえ、電気料の不足が見込まれるため、小学校一般事務事業6,077千円、中学校一般事務事業3,211千円、義務教育学校一般事務事業1,077千円、天城給食センター事業1,040千円、中伊豆給食センター事業948千円、修善寺中学校給食事業1,722千円の増額を12月定例会に提出することを説明する。また、学校給食の調理業務及び配送業務について、調理員等の人材確保と継続的な育成を図るため、令和5、6年度の2年間継続して業務委託契約をする必要があることから、天城給食センター、中伊豆給食センター、修善寺中学校の調理業務の委託料として2年間の総額251,460千円、天城給食センター及び中伊豆給

食センターの給食配送業務の委託料として2年間の総額36,740千円の債務負担行為の設定を12月定例会に提出することを説明する。

教育部長：学校給食の債務負担行為の設定については、来年度からの事業の契約なので金額は令和5年度、6年度の予算になる。今回の12月議会でこの金額が令和5年、6年度に必要であるということが認められれば、今年度中に契約の準備ができる。予算の執行は来年度からであるが、業者を決めるのは今年度に行うことである。来年、再来年の予算枠を確保するための作業である。

上記、補足説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第31号 伊豆市立中学校・義務教育学校合同部活動に伴う移動費補助金交付要綱の一部改正について

内容の見直しのため、議案第31号は取り下げる。

## 5. 報告・連絡事項

<社会教育課から>

社会教育課 12月行事予定について

- ・社会教育課長より、12月の行事予定について説明する。

<学校教育課から>

- ・学校教育課長から、新中学校の建築工事の入札スケジュール等について説明する。

## 6 意見交換

教育部長：新中学校の校名について、意見交換を行いたい。応募数969通の中から開校準備委員が校名としてふさわしいものを10点ずつ選ぶ一次審査を行い、80種類に絞り込みをした。更に11月21日の新中学校開校準備委員会において、二次審査を行い、5点に絞り込んだ。審査にあたっては、「呼びやすさ、地域全体が愛着をもてる、学校名を介して未来への希望をもてる学校名」等に照らし合わせ、校名としてふさわしいもの、また、子供も投票するので、どれが選ばれても開校準備委員としては、異論がない校名にするということを確認した上で、この5点になった。この5点の校名候補について、感想や意見があれば伺いたい。

教育委員：候補に上がった校名は、いずれもこの先、長く使われる校名としてふさわしいものが選ばれていると思う。

教育部長：開校準備委員会の中でアドバイザーが「校名を考えている我々はいずれ、この世からいなくなるが、校名はこの先もずっと残る。この先、何十年も残る名称を決めるということを確認した上でよく考えて選んで欲しい」と発言していた。

教育委員：結局、どれに決まっても「〇〇の方が良かった」という人はいる。どれが選ばれても何年後かには、その校名がしっくりくるのだと思う。

統括監：校名を略した時にどう呼ばれるかも気になるところである。

教育委員：校名のロゴをユニフォームに入れることを考えると、ある程度の文字数がある校名の方が良いと思う人もいるかもしれない。

教育長：各家庭でも色々と話し合ってもらえるとありがたい。教育委員の皆さんにも投票権があるので、ぜひ、この校名が良いというものに1票、投票していただきたい。

#### 7. その他

- ・特になし。

#### 8. 次回教育委員会

- ・次回 12月21日（水）9時30分 中伊豆支所

#### 9. 閉会（梅原教育長）